

万協フロアー  
— 資材搬入計画 —

現場名

---



提出日      平成      年      月      日

( 施工業者 )      株式会社 ケーワンシステム  
札幌市西区八軒7条西3丁目3-23  
TEL (011)631-6111 FAX (011)631-3003

# 目次

---

□ 主要資材 荷姿

TOP

## 資材搬入計画

1	搬入前の確認	運 搬 荷 揚	1P ”
2	搬 入 手 順	1) K Y 活 動 の 実 施 と 適 正 な 人 員 配 置 2) ト ラ ッ ク か ら ス テ ー ジ へ の 荷 降 ろ し 3) ス テ ー ジ か ら リ フ ト 内 へ の 横 移 動 4) リ フ ト か ら 使 用 場 所 へ の 資 材 移 動 5) 資 材 の 仮 置 き 6) 資 材 搬 入 の 完 了 と 清 掃	” ” 2P 3P 4P 5P
3	そ の 他		”

---

## □ 主要資材 荷姿

---

1



パーティクルt=20 2×6 23N F-☆☆☆☆  
50枚梱包 16.5kg/枚

2



支持脚 YP・WP・NP  
□-400H×350W×600D ≒<sub>1</sub>  
□-400H×350W×400D ≒<sub>1</sub>

3



システムネダ SNP  
□-240H×200W×1.140D ≒<sub>1</sub>

# － 資材搬入計画 －

## 1 搬入前の確認

( 運 搬 )

- 1 トラックが進入可能な幅・長さの確認を行なう。
- 2 トラックの搬入通路の確認を行なう。
- 3 トラックの待機場所がある場合、確認を行なう。
- 4 玉掛け有資格者の確認を行なう。

( 荷 揚 )

- 5 職長の選任を行なう。
- 6 作業員全員の『送り出し教育』を行なう。
- 7 搬入経路及び搬入場所の確認を行なう。
- 8 搬入にあたり危険な箇所がないか確認し、協議を行なう。
- 9 作業手順の確認を行なう。
- 10 玉掛け有資格者の確認を行なう。
- 11 資材と接触する可能性のある枠等に、事前に養生カバーを取付ける。

## 2 搬入手順

### 1) K Y活動 の実施と適正な人員配置

- a 全員が必ずK Y活動に参加し、作業手順に基づき危険予知を行なう。
- b 資材の荷降ろし班と間配り班を選任し、適正な人員配置を行なう。
- c 職長は、安全が何よりも最優先することを作業員全員に周知させ、無理な作業を絶対にさせない。
- d ヘルメット・安全靴の着用・服装をチェックする。

### 2) トラックからステージへの荷降ろし

- a ユニックを使用する際、運転手は玉掛け資格証を携帯すること。  
補助作業員はその限りではない。



運 転 手





- b 吊荷の下には絶対に人が入らないよう注意を払う。
- c 資材は床に直置きせず、枕木等を用いて受取る。

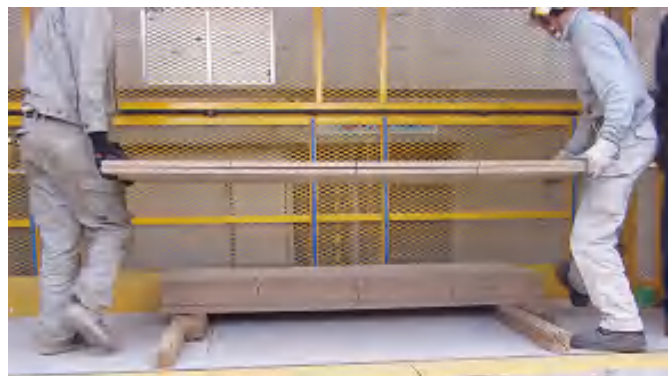


- d 資材に荷崩れ用のバンドが掛かっている場合、バンドを切る際にバンドが飛んで怪我をする場合があるため、必ず手で押えてからカッターにて切断すること。

### 3) ステージから リフト内への資材の横移動

- a 資材の移動は、個人差もあるため下記のように1回の移動数量を制限する。

パーティクルボード t=20	2枚/人 (33kg) 以内
----------------	----------------



b 資材の仮置きは、資材の荷崩れ防止を考慮して『1mを超えない高さ』で行なう。

\* パーチルボード(2×6) で 50枚を基本とする。  
(但し、枕木高は考慮しない)



c リフトの許容荷重を超えないよう積み資材の計算を行なう。

パーチル t =20 2×6 → 16.5kg/枚

#### 4) リフトから使用場所への資材移動



a ベランダから室内への搬入の際には、サッシの下枠に足が掛からないよう注意を払う。



- b 資材の移動は、 a 同様に個人差があるため下記のように制限する。

パーティクルボード t=20      2枚/人 (33kg) 以内

- c 無理のない移動により、現場内の建具やボードへの破損を防ぐ。  
d 台車を使用する際には、床に段差等がないか事前に確認する。

\* 台車への積み上げの高さは 1.0m以内とする。



- e 段差等がある場合、絶対に無理な移動は避け、手作業にて作業を行なう。  
f 天井点検口のフタや灯具に資材をぶつけぬよう注意をする。

## 5) 資材の仮置き

- a 資材は、壁面から100~300mm程度離して、地墨の上には置かないよう注意する。  
b 資材は、コンクリート面に直置きせず養生材の上に置くようにする。  
c 仮置高さは、荷崩れ防止を考慮し、1mを超えない高さとする。  
(但し、枕木高は考慮しない)

\* 資材仮置きが悪い例 ①



資材はきちんと丁寧に積み重ねる。突起していると服が引っ掛けられたり荷崩れの危険がある。

\* 資材仮置きが悪い例 ②



枕木等を使用していない。ウレタンの上に資材は乗せない。嚴重注意が必要。

## 6) 資材搬入の完了と清掃

- a 資材搬入完了後，搬入の際に撤去したり取り外した仮設材や防護網等の復旧を行なう。
- b 万が一，壁・天井等を破損させた場合，必ず職長に自己申告を行なう。
- c 作業中に発生したゴミなどを処分する。
- d 資材養生に使用した養生材は，積んできたトラックにて持ち帰る。  
\*現場内にて処分出来る場合は別とする。
- e 搬入場所の清掃を行なう。
- f 職長は，作業完了の報告を上位職長に必ず行なう。



## 3 その他

- \* 現場付近での路上駐車は絶対に行わない。
  - \* 現場付近では横断歩道を渡るなど交通ルールを守り，他者の模範となるよう日頃から留意する。
- ◆ 以上、弊社では現場乗込み前に『送り出し教育』を行ない、乗込み時の『新規入場者教育』および『KY活動』を行なった上で、職長による指導のもと『有資格者』による資材搬入を安全に且つ適切に行なうことを厳守します。

改訂日 平成23年3月31日